

# 企業と臨床工学技士がともに考える 医工連携と知財戦略ワークショップ

## ファシリテータ



**浅岡 陽介 氏**  
**公益財団法人大阪産業局**  
**おおさかなレッジ・フロンティア推進機構 チーフプランナー**

財務系コンサルティングファーム、有限責任監査法人トーマツの経営コンサルタントを経て独立。

コンサルティングファームでは、経営戦略立案、新規事業創出、技術移転、事業提携、再生業務等、企業の幅広い成長ステージに対応した支援業務に従事。

現在は（公財）大阪産業局に属し、技術開発型のベンチャー企業や中小企業に対して、企業が抱える課題（ビジネスモデル、資金調達、販路、事業提携等）に応じたハンズオン支援に従事している。

## 講師



**西垣 孝行 氏**  
**森ノ宮医療大学 臨床工学科 准教授**

2000年から国立循環器病研究センターで17年間、臨床工学技士として従事。人工心肺や補助循環などの臨床業務と並行して博士（応用情報科学）取得、また7年間医工連携に従事、感染予防用アイガード「パラシールド」を商品化。

経済産業省の始動NextInnovator2016に参加（シリコンバレー派遣組み20名に選抜、最終プレゼンターに選出）。

2017年経済産業省医療福祉機器産業室を経て、2018年に森ノ宮医療大学に着任。2019年「医工デザイン融合」をコンセプトに、命を守っている人を守るための新しい構造を創るNPOまもるをまもるを法人化。命の現場の課題をアートで切り取り、産業界の付加価値としてサービス応用にトライするプラットフォーム「evaGraphy」を開発（12月14日にローンチ）。

CancerX、臨床工学技士100人カイギ発起人（医療職種100人カイギ企画）、プラスメディカルなど医療者が集まって新しい取り組みに挑戦する「出島」を造っている。



**吉田 哲也 氏**  
**公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構**  
**コーディネータ／臨床工学技士**

神戸市立医療センター中央市民病院をはじめ、臨床工学技士として約20年の経験。医療機器管理部門において院内全体の医療機器を管理する中、ニーズを起点とした医療機器開発を複数手掛ける。2019年から経済産業省 医療・福祉機器産業室において医工連携イノベーション推進事業を担当、またCOVID-19への対応として厚生労働省・経済産業省の合同人工呼吸チームにおいて人工呼吸器等の開発、増産支援を実施。2021年より（公財）神戸医療産業都市推進機構へ着任し、医療機器の事業化支援を担当。